平成28年8月23日

各　位

会　社　名　　株式会社フェニックスバイオ
代表者名　　代表取締役　藏本　健二
（コード番号：6190　東証マザーズ）
問合せ先　　専務取締役管理部長　田村　康弘
（TEL　082-431-0016）

ウロキナーゼ型プラスミノーゲンアクチベーター・トランスジェニックマウスに関する特許取得のお知らせ

当社は、現在、当社製品として生産しております「ヒト肝細胞を有するキメラマウス」（当社製品名：PXBマウス®）のホストマウス（親マウス）として使用しておりますcDNA導入ウロキナーゼ型プラスミノーゲンアクチベーター・トランスジェニックマウス（cDNA-uPAマウス）につきまして、日本国特許庁にて特許登録されました（特許番号：特許第5976380号）ので、お知らせいたします。

【概要】

cDNA導入ウロキナーゼ型プラスミノーゲンアクチベーター・トランスジェニックマウスは、公益財団法人東京都医学総合研究所、中外製薬株式会社及び当社が共同開発したトランスジェニックマウスであり、現在、当社の製品である「ヒト肝細胞を有するキメラマウス（当社製品名：PXBマウス®)」のホストマウスとして使用しております。

本マウスは、2012年7月以前に使用していたホストマウス（uPAマウス）に比べて、長期間安定してヒト肝細胞の置換率と体重を維持できるヒト肝細胞キメラマウスの作製ができるようになり、長期間の実験等が可能となりました。

今回の特許取得により知的財産権の強化を図るとともに、今後もPXBマウスの世界的な普及に努めてまいります。

なお、本件による業績への影響はありません。

【ご参考】

［cDNA］

細胞内での蛋白質合成においてDNAの遺伝子として働く部分（情報）を人工的に合成したDNAであり、complementary DNA（相補的DNA, cDNA）と呼ばれています。

［uPA］

ウロキナーゼ型プラスミノーゲン活性化因子（uPA）は様々な蛋白質を溶かすことができる酵素の一つです。体内で凝固した血餅を溶解し除去する線溶系としての働きがよく知られています。

以　上